

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物繁殖学		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	西村 美笛
授 業 の 概 要				
繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。				
授業終了時の到達目標				
1）生殖器の基本的構造について理解する 2）主要な性ホルモンについて理解する 3）性成熟と発情徴候について理解する 4）子犬子猫の発育過程と飼養方法を理解する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院で動物看護師として2年間勤務		
時間外に必要な学修				
毎回確認テストを行う。学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。				
回	テ ー マ		内 容	
1	導入、生殖について①		動物繁殖学の概要、犬猫の生殖器について①	
2	生殖について②		犬猫の生殖器について②、その他動物の生殖器について	
3	性ホルモン		生殖機能調節に関わるホルモン	
4	発情徴候と発情周期		犬猫の性成熟、発情徴候、発情周期	
5	交配①		交配適期の検査方法、繁殖犬の選択、交配の種類、交配直前準備	
6	交配②		犬猫の交尾様式、人工授精、犬猫の受精、胚の発育及び着床	
7	妊娠診断、偽妊娠、妊娠管理		妊娠診断、犬の偽妊娠、妊娠期間、妊娠中の管理	
8	胎児の成長、出産準備		胎児の成長、出産の準備物	
9	分娩と助産		分娩徴候、犬猫の分娩様式、助産方法	
10	帝王切開、分娩後の管理		帝王切開、帝王切開後の新生児の蘇生方法、母親の授乳期中の管理	

回	テ ー マ	内 容		
11	遺伝子と器官発生	染色体、DNA、遺伝に関する法則、器官発生		
12	新生子の特性と管理①	環境管理、排泄管理、人工哺乳、強制給餌 等		
13	新生子の特性と管理②	新生子の全身状態の検査方法、新生子がかかりやすい疾患		
14	新生子の特性と管理③	新生子の解剖学的特徴、新生子の生理的機能		
15	期末テスト	筆記試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛犬の繁殖と育児百科		期末試験 確認テスト	60.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
比較動物学Ⅱ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
実験動物				
・ 3Rsが英語と日本語で言える。また5つの自由についてもすべてあげることができる				
・ 微生物学的統御の違いにより実験動物を分類でき実験動物の管理施設を選択することができる				
・ 代表的な実験動物の特性と飼育管理ができるようになる				
野生動物				
・ 野生動物の分類と生物多様性について理解する				
・ 鳥獣害の現状と保全の意義について理解する				
・ 絶滅危惧種の定義と含まれる動物、原因、保全方法について理解する				
・ 外来生物の定義、在来生態系に及ぼす影響、対策について理解する				
展示動物				
・ 展示動物の意義と動物園などの役割について理解する				
・ 動物園などにおける個体・群管理、行動管理について理解する				
・ 動物園などの施設管理について理解する				
・ エンリッチメントについて提案できるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
ケーススタディを期限内に提出できるように準備する				
回	テ ー マ		内 容	
1	実験動物学総論		動物実験の目的と配慮 実験動物に関する法律と3Rs 動物看護師と動物実験	
2	実験動物の管理学①		生体因子の管理学 遺伝的モニタリングの管理学 住居環境因子の管理学	
3	実験動物の管理学②		物理化学的因子の管理学 栄養学的管理学 微生物学的管理学（生物学的管理学）	
4	代表的な実験動物の特性と飼育管理①		・ マウス・ラット・シリアンハムスター	
5	代表的な実験動物の特性と飼育管理②		・ スナネズミ・モルモット・ウサギ・サル類 ・ その他に実験動物	
6	疾患モデル動物と代替法		・ 疾患モデル動物 ・ 代替法について	

回	テ ー マ	内 容		
7	ケーススタディ（実験動物）	実験動物の福祉改善への取り組み 実験動物の飼養管理における倫理的な課題の分析 3Rs（置換、削減、改良）の導入事例の検討 仮想シナリオを使って、実験動物のケアプランを作成・発表 具体例：「マウスを用いた薬品開発」 実験デザイン、倫理委的課題、成果と限界を分析		
8	野生動物①	・野生動物の分類と生物多様性 ・鳥獣害の現状と管理の意義		
9	野生動物②	・絶滅危惧種の定義に含まれる動物、原因、保全方法やその意義 ・外来生物の定義、在来生態系に及ぼす影響、対策 ・野生動物の救護 ・野生動物救護の対象と内訳 ・野生動物の病気と事故 ・野生動物の救護体制		
10	ケーススタディ（野生動物）	野生動物保護における実践的な課題分析 具体例：「オオカミの再導入プロジェクト」 生態系への影響、政治的・地域的反応を議論 具体例2：ニホンジカと森林生態系の影響 具体例3：アカウミガメの産卵環境保全 具体例4：ツキノワグマの人里出没問題		
11	展示動物①	・展示動物の意義と動物園などの役割 ・展示動物の管理方法		
12	展示動物②	・動物園などの施設管理		
13	展示動物③	展示動物の福祉と倫理 展示動物の看護		
14	ケーススタディ（展示動物）	展示動物の福祉と展示方法の改善 具体例：「水族館でのイルカの飼育」 教育的価値、観客の意識への影響、倫理的議論 具体例②：魚の展示ケースとメンタルと精神的健康		
15	期末試験	学習した内容を試験する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教科書：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻（EDUWARD Press） 参考書：動物看護コアテキスト第3版 2 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） 教 材：授業毎の配布プリント		期末試験 課題・レポート	70.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
動物薬理学Ⅰ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	講義	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	15回	2単位（30時間）	必須	中川 雄太	
授 業 の 概 要					
代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨書応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられているかを理解する。					
授業終了時の到達目標					
獣医薬理学 veterinary pharmacology を総論、各論と分けて学習し、実際の現場で必要とされる薬理学の基礎の習得を目指す。 臨床薬理学 clinical pharmacology、薬力学 pharmacodynamics、薬物動態学 pharmacokinetics、毒性学 toxicology と重要項目に関して満遍なく学習し、臨床現場に限らず様々な場面での適正な薬物の使用を行えるよう目指す。					
実務経験有無		実務経験内容			
有		動物病院にて獣医師として9年間勤務			
時間外に必要な学修					
前回学んだ部分をしっかりと復習すること、授業中の内容を理解することが重要です。					
回	テ ー マ		内 容		
1～2	動物薬理学総論 薬理作用		薬理学を学ぶ目的・評価方法など 主作用・副作用・相乗効果・相互作用		
3～4	薬物動態学 薬物の投与方法、薬物の剤形		ADME 投与方法、剤形の種類による薬物動態に与える影響		
5～6	化学療法薬①		抗菌薬		
7～8	化学療法薬②		抗腫瘍薬や殺虫薬・駆虫薬		
9～10	神経系の薬理学①		麻酔薬、鎮痛薬、鎮静薬、筋弛緩薬、抗けいれん薬、行動異常治療薬を主に、一部駆虫薬に関しても触れる		
11～12	神経系の薬理② 呼吸器の薬理 薬量計算①		呼吸興奮薬、鎮咳薬、気管支拡張薬 薬量計算		
13～14	循環器・泌尿器の薬理学		血管拡張薬、強心薬、抗不整脈薬、利尿薬		
15	期末試験		前期末試験		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
1) 動物看護コアテキスト第3巻 動物の疾病と予防および回復 第2版 2) よくわかる犬の病気 3) よくわかる猫の病気 4) 新獣医薬理学 第四版（一部は第三版を使用）			期末試験	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
公衆衛生学Ⅱ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	水戸 綾美
授 業 の 概 要				
環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解し、愛玩動物看護師として、社会に貢献出来ることを目指す。				
授業終了時の到達目標				
公衆衛生とは何かを学び、重要性を理解して、現場で実践出来るようになる。 感染症について学び、予防対策が出来るようになる。 環境・食品に関する衛生活動が出来るようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有	岡山県内の動物病院にて動物看護師として2年間勤務 岡山県内の夜間動物病院にて愛玩動物看護師として勤務			
時間外に必要な学修				
授業始めに、その日学ぶ内容の小テストを出します。期末テストに向けての復習に加え、次回に向けての予習をする習慣をつけましょう。				
回	テ ー マ		内 容	
1	公衆衛生学Ⅰ振り返り		公衆衛生学Ⅰで学習した内容を振り返る	
2	細菌性人獣共通感染症① 真菌性人獣共通感染症①		猫ひっかき病など4つの感染症	
3	細菌性人獣共通感染症② 真菌性人獣共通感染症②		オウム病など4つの感染症	
4	細菌性人獣共通感染症③		ライム病など5つの感染症	
5	細菌性人獣共通感染症④		赤痢など4つの感染症	
6	細菌性人獣共通感染症⑤		レプトスピラ症など5つの感染症	
7	寄生虫①		原虫、外部寄生虫による感染症	
8	寄生虫②		線虫類、吸虫類、条虫類等による感染症	
9	新興感染症と再興感染症		新興感染症と再興感染症	
10	狂犬病予防の重要性		狂犬病予防の重要性	
11	食品衛生①		食品衛生法～食品とアレルギー	
12	食品衛生②		動物性食品の衛生～食品安全行政の動向	
13	環境衛生①		環境衛生とは～水の衛生	
14	環境衛生②		生活環境問題～衛生動物	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	公衆衛生学Ⅱで学んだこと		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5巻 ・授業毎の配布プリント		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物内科看護学Ⅲ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
授業終了時の到達目標				
1) 動物の基本的な取り扱いができ、一般身体検査全般ができる 2) 診察準備や衛生管理、保定、その他診療補助ができる 3) 輸液や薬剤投与など内科診療技術を修得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務			
時間外に必要な学修				
毎回レポートを提出し復習する。 繰り返しの練習を行い技術を身に付ける				
回	テ ー マ		内 容	
1	動機づけ 授業の流れ、実習室について①		動機づけ、実習のルール、実習室について、掃除の仕方	
2	実習室について②		実習室について、掃除の仕方	
3	倫理綱領、看護について 診療記録について		倫理綱領、看護師業務について、カルテ用語、カルテ記入方法	
4	保定の基礎		保定の基礎知識、保定の種類、保定に使用する道具	
5	バイタルチェック、ノミダニ予防		バイタルチェック、ノミダニ予防	
6	日常の健康管理		耳、肛門嚢、眼 など	
7	全身検査①		全身検査	
8	全身検査②		全身検査	
9	病気の予防について RVについて、ノミダニ予防		病院で行う予防できる病気について、ノミダニ予防	
10	不妊手術について		避妊・去勢手術について	
11	入院管理①、フィラリア予防		入院管理（幼齢・老齢動物看護）、フィラリア薬投与	
12	入院管理②		入院管理 （入院環境の適正管理、ストレス緩和の方法、散歩、運動、排泄管理 等）	
13	応急処置		応急処置	

回	テ ー マ	内 容		
14	投薬	錠剤、粉薬、目薬 など投薬方法		
15	期末試験	筆記試験実施（持ち込み可）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学テキスト		期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅲ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、 また、飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務			
時間外に必要な学修				
毎回確認テストを行う。学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。				
回	テ ー マ		内 容	
1	循環器系3 先天性心臓疾患		心室中隔欠損、心房中隔欠損、卵円孔開存、 ファロー四徴症、右大動脈弓遺残症	
2	循環器系4 心筋症と循環器系まとめ		拡張型心筋症、肥大型心筋症、循環器疾患への看護	
3	呼吸器系1 呼吸器系の役割と疾患		呼吸器系形態機能復習 疾患と診察、治療	
4	呼吸器系2 感染性呼吸器疾患		犬伝染性気管気管支炎 猫上部気道疾患	
5	呼吸器系3 感染性呼吸器疾患と肺疾患		ジステンパー、肺炎、肺水腫	
6	呼吸器系4 呼吸器疾患		猫の喘息 気管虚脱 短頭種気道症候群 胸水 気胸	
7	泌尿器系1 腎不全		泌尿器系の形態機能（復習）と腎不全	
8	泌尿器系2 尿路感染症とFLUTD		尿路感染症とFLUTD	
9	泌尿器系3 尿石症と排尿障害		尿石症と排尿障害について	
10	生殖器系1 雄性生殖器		雄性生殖器疾患について	
11	生殖器系2 雌性生殖器		雌性生殖器疾患について	
12	神経系疾患1 中枢神経系の疾患		脳炎・水頭症、てんかん	
13	神経系疾患2 脊髄神経系の疾患		ウォブラー症候群、椎間板ヘルニア、馬尾症候群	
14	復習		復習ワーク	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
人と動物の関係学		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	講義	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	15回	2単位（30時間）	必須	西村 美笛	
授 業 の 概 要					
動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的側面から、その実態、課題などを含めて理解する。					
授業終了時の到達目標					
1) 動物の飼養・利用の歴史と現状について理解する。 2) 動物虐待と多頭飼育崩壊について理解する。 3) 動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響について理解する。 4) 動物介在活動・教育・療法について理解する。 5) 学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関りについて理解する（文科省が道德教育の一環として認めていることを含む）。					
実務経験有無		実務経験内容			
有		岡山県倉敷市の夜間も行っている動物病院で動物看護師として2年間勤務			
時間外に必要な学修					
動物による癒し効果を自分自身で体感し、より効果のある方法を考える					
回	テ ー マ		内 容		
1	導入、人と動物の関り		導入、時代ごとの「人と動物の関り」について調べ、まとめる		
2	ペットの適正飼育とペットロス		動物飼育の現状について、ペットロスについて		
3	動物虐待と多頭飼育崩壊		動物虐待の定義と背景、動物虐待への対処、法規制、多頭飼育崩壊の定義と背景		
4～6	動物介在活動・療法・教育		動物介在活動・療法・教育の定義と歴史、動物がもたらす効果		
7～10	実習に向けての準備		グループ分け、名札づくり、ワーク内容企画 等		
11～14	AAA実習		1回目：Aグループ 2回目：Bグループ		
15	期末試験		筆記試験（持ち込み不可）		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 人と動物の関係学 動物介在活動・教育・療法 必携テキスト Basic			期末試験 課題・レポート	60.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
適正飼養指導論Ⅰ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	水戸 綾美
授 業 の 概 要				
愛玩動物の効用や飼養目的等を理解したうえで、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政のしくみについて理解する。				
授業終了時の到達目標				
犬や猫が飼育されるうえで、人と共生していくために必要な適正飼養の知識をつけ、飼い主への指導など、愛玩動物看護師としての役割を果たせるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有	岡山県内の動物病院にて動物看護師として2年間勤務 岡山県内の夜間動物病院にて愛玩動物看護師として勤務			
時間外に必要な学修				
ペットに関わるうえで日々触れている内容の分野です。ポスター制作や実戦形式の授業を予定しているので、普段からアンテナを立てて情報収集をしてください。				
回	テ ー マ		内 容	
1	ワーク①		ペットの適正飼養について考える	
2	愛玩動物の飼養①		適正飼養とは	
3	愛玩動物の飼養②		愛玩動物飼養の現状	
4	愛玩動物の飼養③		愛玩動物によって人間が受ける影響と問題点	
5	動物終末期（飼い主）ケア①		動物終末期（飼い主）ケアの総論と動物看護師の役割	
6	動物終末期（飼い主）ケア②		動物医療グリーフケア	
7	動物終末期（飼い主）ケア③		ペットロス	
8	適正飼養の推進①		適正飼養に関する支援の目的と活動 動物取扱業における適正飼養	
9	ワーク②		動物種に合った適正飼養の環境を考える	
10	適正飼養の推進②		愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策	
11	適正飼養の推進③		動物の適切な選択	
12	適正飼養の推進④		十分な社会化～子犬教室や子猫教室のメリット	
13	適正飼養の推進⑤		適切な環境の提供～適切なしつけ	

回	テ ー マ	内 容		
14	適正飼養の推進⑥	不妊・去勢手術 問題行動に関する知識の提供		
15	期末試験	適正飼養指導論Ⅰで学んだこと		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・授業毎の配布プリント		期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物内科看護学実習Ⅲ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
授業終了時の到達目標				
1) 動物の基本的な取り扱いができ、一般身体検査全般ができる 2) 診察準備や衛生管理、保定、その他診療補助ができる 3) 輸液や薬剤投与など内科診療技術を修得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務			
時間外に必要な学修				
毎回レポートを提出し復習する。 繰り返しの練習を行い技術を身に付ける				
回	テ ー マ	内 容		
1	動機づけ 授業の流れ、実習室について①	動機づけ、実習のルール、実習室について、掃除の仕方		
2	実習室について②	実習室について、掃除の仕方		
3	倫理綱領、看護について 診療記録について	倫理綱領、看護師業務について、カルテ用語、カルテ記入方法		
4	保定の基礎	保定の基礎知識、保定の種類、保定に使用する道具		
5	バイタルチェック、ノミダニ予防	バイタルチェック、ノミダニ予防		
6	日常の健康管理	耳、肛門嚢、眼 など		
7	全身検査①	全身検査		
8	全身検査②	全身検査		
9	病気の予防について RVについて、ノミダニ予防	病院で行う予防できる病気について、ノミダニ予防		
10	不妊手術について	避妊・去勢手術について		
11	入院管理①、フィラリア予防	入院管理（幼齢・老齢動物看護）、フィラリア薬投与		
12	入院管理②	入院管理 （入院環境の適正管理、ストレス緩和の方法、散歩、運動、排泄管理 等）		
13	応急処置	応急処置		

回	テ ー マ	内 容		
14	投薬	錠剤、粉薬、目薬 など投薬方法		
15	期末試験	筆記試験実施（持ち込み可）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学テキスト		期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物外科看護学実習Ⅲ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
外科手術に関する技術に実践と応用				
授業終了時の到達目標				
外科に関わる全ての業務ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	外科学実習Ⅲについて	科目の目的と到達目標		
2	採血実習	採血キットを使用した採血練習		
3	採血実習	フィラリア予防の採血（2年生と合同）		
4	採血実習	フィラリア予防の採血（2年生と合同）		
5	手術準備復習	手術の準備、手洗い、術着手袋、手術器具の取扱い、モニター、気管挿管、留置、、、などすべての復習		
6	採血実習	フィラリア予防の採血（2年生と合同）		
7	採血実習	フィラリア予防の採血（2年生と合同）		
8	外科手術テスト①	術中の手技を除くすべての業務を担当→採点 協力はOKだが教えてもらおうと減点。教えるのはOKで加点。		
9	愛玩動物看護師 対策授業	愛玩動物看護師 対策授業		
10	外科手術テスト②	術中の手技を除くすべての業務を担当→採点 協力はOKだが教えてもらおうと減点。教えるのはOKで加点。		
11	愛玩動物看護師 対策授業	愛玩動物看護師 対策授業		

回	テ　　マ	内　　　容
12	外科手術テスト③　鳥大２班のみ	術中の手技を除くすべての業務を担当→採点 協力はOKだが教えてもらうと減点。教えるのはOKで加点。
13	愛玩動物看護師　対策授業	愛玩動物看護師　対策授業
14	外科手術テスト③　鳥大１班のみ	術中の手技を除くすべての業務を担当→採点 協力はOKだが教えてもらうと減点。教えるのはOKで加点。
15	愛玩動物看護師　対策授業	愛玩動物看護師　対策授業

回	テ　　マ	内　　　容		
16	手術実習役割発表	手術実習の役割練習		
17	愛玩動物看護師 対策授業	愛玩動物看護師 対策授業		
18	手術実習順義	手術実習の役割練習		
19	手術実習 最終確認	手術実習準備（滅菌など）		
20～ 21	手術実習（去勢手術）			
22	愛玩動物看護師 対策授業	愛玩動物看護師 対策授業		
23	外科手術テスト④	術中の手技を除くすべての業務を担当→採点 協力はOKだが教えてもらうと減点。教えるのはOKで加点。		
24	愛玩動物看護師 対策授業	愛玩動物看護師 対策授業		
25	外科手術テスト④	術中の手技を除くすべての業務を担当→採点 協力はOKだが教えてもらうと減点。教えるのはOKで加点。		
26	愛玩動物看護師 対策授業	愛玩動物看護師 対策授業		
27	外科手術テスト⑤	術中の手技を除くすべての業務を担当→採点 協力はOKだが教えてもらうと減点。教えるのはOKで加点。		
28	愛玩動物看護師 対策授業	愛玩動物看護師 対策授業		
29	愛玩動物看護師 対策授業	愛玩動物看護師 対策授業		
30	外科手術テスト⑥	術中の手技を除くすべての業務を担当→採点 協力はOKだが教えてもらうと減点。教えるのはOKで加点。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書 外科学		実習・実技評価	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅳ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	西村 美笛
授 業 の 概 要				
「働くこと」を自分のことのように捉え、自分らしい「キャリアの在り方」についての洞察を深め、将来社会に出て実践できるように、社会人として求められる姿勢や資質・能力を身につける。				
授業終了時の到達目標				
①自己のキャリアを考える上での基礎的理解ができ、仕事選択のやり方を習得できる。 ②「自分らしさ」についての理解を深め、それを表現し、言語化・文章化できる。 ③仕事で求められる心構え・姿勢や能力が理解でき、それを学習活動につなげられる。 ④仕事選択を身近に考えるようになり、キャリア・プランを具体的に立てられる。 ⑤チームでのワークを体験することによって、社会人に求められる基礎能力を身につける。 ⑥校外研修に向けた履歴書を作成できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
愛玩動物看護師としての自分の姿を想像し、現場で必要な知識や技術が何かを追求する。				
回	テ ー マ		内 容	
1	動物業界の仕事について		動物業界の仕事を調べる 書き出しまとめ発表する	
2	求人の見方		求人の見方と調べ方を学び 実際に調べてみる	
3	仕事理解① 「地図を作ってみよう」		ワーク、考察	
4	仕事理解② 「ケーススタディで学ぶ実際の仕事」		ワーク、考察	
5	仕事理解③ 「インタビューしてみよう」		ワーク、考察	
6～10	春の研修に向けた履歴書準備		春の研修に向けた履歴書準備	
11	動物病院での研修について①		研修の目的 グループワーク	
12	動物病院での研修について②		研修中のマナーや気を付けること	
13	動物病院での研修について③		研修後になりたい姿と今何ができるか	
14	研修先を決めるには		研修先を決めるポイントを考える	
15～20	研修先のリストアップ		研修希望先をリストアップして提出する	
21	研修先の決め方		電話のかけ方	

回	テ ー マ	内 容
22	研修先への訪問	研修先への訪問
23～ 28	春の研修に向けた履歴書準備	春の研修に向けた履歴書準備
29	研修先への訪問	お礼状の書き方

回	テ　　マ	内　　　容		
30	期末テスト	レポート		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就勝ゼミ教材		課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	西村 美笛
授 業 の 概 要				
卒業後の社会人生活において十分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。				
授業終了時の到達目標				
卒業後の社会人生活において十分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
履歴書や申請書の記入と提出				
回	テ ー マ	内 容		
1	春就職活動の振り返り	3月に実施した就職活動を振り返り、今後の計画を立てる		
2	社会人力アップ①	挨拶・上司先輩との付き合い・休憩時間・休みの取り方		
3	社会人力アップ②	正しい敬語		
4	社会人力アップ③	電話マナー		
5	社会人力アップ④	人間関係編		
6	知っておこう①	詐欺について		
7	知っておこう②	社会保険・年金・雇用保険について		
8	知っておこう③	出勤について		
9	知っておこう④	退勤について		
10	知っておこう⑤	社会人になる覚悟		
11	知っておこう⑥	SNSの利用について		
12	知っておこう⑦	領収書		
13	働く前の心得①	職場に慣れる8つのコツ		
14	働く前の心得②	トラブル対応		

回	テ ー マ	内 容		
15	働く前の心得③	新社会人が入社前に押さえておきたい7つの心得		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物看護技術実習Ⅰ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
・ 動物看護技術に関する卒業研究を通じて実践的な知識と技能を身につける。 ・ 独自の研究テーマの設定と調査を通じて、問題解決能力や論理的思考力を養う。 ・ ポスター発表を通じて、研究結果を効果的に共有し説明する能力を育成する。				
授業終了時の到達目標				
・ 研究テーマを設定し、データ収集・分析の基礎を構築。 ・ 仮ポスターの内容とデザインを段階的に作成。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
授業内で終わらなかったテーマの収集と仮ポスターの作成				
回	テ ー マ		内 容	
1	動機付け		授業の目的、計画、ポスター発表の概要を確認する	
2	研究テーマの選定		興味のある分野を深掘りし、テーマを具体化する	
3	先行研究のレビュー		文献検索の方法と分析手法を学ぶ	
4	仮説の立案と目的の明確化		仮説を考え、研究目的を明確にするプロセスを学ぶ	
5	研究計画書の作成		計画書に必要な要素（目的、方法、スケジュールなど）を記載する	
6	データ収集方法の学習		観察、アンケート、実験など、適切なデータ収集手法を学ぶ	
7	データ収集実践1		初期データの収集を計画に基づき実施する	
8	データ整理と初期分析		データを整理し、簡易的な分析を行う	
9	仮ポスター内容の検討と構成案作成		ポスターで伝える主要内容を整理し構成案を作成する	
10	ポスター草案のデザイン		レイアウトを設計し、視覚的要素を配置する	
11	中間進捗確認1		グループで進捗状況を共有し、フィードバックを受ける	
12	データ追加収集と内容改善		教員から詳細なフィードバックを受け、計画を修正する	
13	データ分析の深化と議論		詳細なデータ解析と結果の議論	
14	ポスター草案の改訂		フィードバックに基づきポスター草案を改善する	

回	テ ー マ	内 容		
15	前期の振り返りと後期への準備	前期の進捗と成果を振り返り、後期の目標を設定する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学テキスト 動物看護実習テキスト		実習・実技評価	100.0%	評価基準：研究テーマの独自性、研究内容の深さ、ポスターの完成度、内容の明確さ、進捗管理を5段階評価。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物栄養学Ⅱ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	高橋 陽子
授 業 の 概 要				
犬と猫の栄養学基礎知識を身につけ、栄養素の働き、ペットフードについて必要な知識を身につける。 特別療法食（各疾患別）の目的、適応、栄養特性、特徴を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
健康管理と維持に必要な技術と概念を学ぶ。 ・犬と猫の栄養学の知識を身に付ける。 ・犬と猫の栄養学、ペットフードについて飼い主様に説明できるようになる。 ・犬と猫の特別療法食について理解する。 ・犬と猫の特別療法食の適応、栄養特性、特徴を学び、各疾患別にフードを選択できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院での動物看護業務（6年） 猫カフェの開業・経営（動物展示及び飲食店業務）（3年）		
時間外に必要な学修				
前回の復習を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	6大栄養素について⑥		ミネラルについて	
2～3	6大栄養素について⑦		水について	
4～5	小テスト		2～9までについて小テストを行う	
6～7	自家製フードと市販フード①		ライフサイクル別の食餌について（実際のペットフードで行う）	
8～9	自家製フードと市販フード②		自家製フード、犬猫に与えてはいけない食品	
10～11	処方食①		動物病院で取り扱っている処方食について	
12～13	処方食②		動物病院で取り扱っている処方食について	
14～15	期末テスト		筆記試験を実施する	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 確認テスト	70.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物看護関連法規		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	西村 美笛
授 業 の 概 要				
動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する				
授業終了時の到達目標				
法学総論 ・法の体系について理解する ・獣医療に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する 愛玩動物看護師法 ・愛玩動物看護師法の目的・定義等について理解する（免許、試験、業務、罰則を含む） 獣医療関連行政法規 ・獣医師法の概要について理解する ・獣医療法の概要について理解する 公衆衛生行政法規 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の概要について理解する ・狂犬病予防法の概要について理解する 薬事行政法規 ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の概要について理解する ・麻薬及び向精神薬取締法の概要について理解する ・毒物及び劇物取締法の概要について理解する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	法の基礎知識		法源 実定法の分類 「民事」と「刑事」と「行政」 刑の種類	
2	各分野・領域に関する法規		各法規が対象とする動物種 伴侶動物に関わる法規 生産動物に関わる法規 動物が関与するその他の法規	
3	愛玩動物看護師法		愛玩動物看護師法	
4	獣医療関連行政法規		獣医師法 獣医療法	

回	テ ー マ	内 容		
5	公衆衛生行政法規	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法） 狂犬病予防法 その他の関連する法律		
6	薬事行政法規	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法：薬機法） その他の関連する法律		
7	家畜衛生行政法規	家畜伝染病予防法 その他の関連する法律		
8	期末試験	ここまで学習したことを試験する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教科書：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻（EDUWARD Press） 参考書：動物看護コアテキスト第3版 2 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） 教 材：授業毎に配布するプリント		課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物愛護・適正飼養関連法規		動物看護総合学科動物医療教育専攻／3年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	西村 美笛
授 業 の 概 要				
動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する				
授業終了時の到達目標				
愛護・適正飼養の基本となる概念 ・愛護・適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する 愛護・適正飼養関連行政法規 ・動物の愛護及び管理に関する法律の概要について理解する ・愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律の概要について理解する 社会福祉行政・環境衛生法規 ・身体障害者補助犬法について概要を理解する ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律の概要について理解する ・化製場等に関する法律の概要について理解する 野生動物等に関する法律及び条約 ・生物多様性の概要について理解する ・特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の概要について理解する ・絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約の概要について理解する ・絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の概要について理解する ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の概要について理解する ・特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約の概要について理解する ・自然公園法における野生動植物保護に関する制度を理解する ・文化財保護法における飼育動物や野生生物の保護に関する制度を理解する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	愛護・適正飼養関連行政法規①		動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）	
2	愛護・適正飼養関連行政法規②		動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）	
3	愛護・適正飼養関連行政法規③		愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律（ペットフード安全法）	
4	社会福祉行政・環境衛生法規①		身体障害者補助犬法（補助犬法）	
5	社会福祉行政・環境衛生法規②		廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法） 化製場等に関する法律	

回	テ ー マ	内 容		
6	野生動物等に関する法律及び条約①	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法） 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法） 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護管理法）		
7	野生動物等に関する法律及び条約②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約） 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約） 自然公園法における野生動植物保護に関する制度 文化財保護法における飼育動物や野生生物の保護に関する制度		
8	期末試験	ここまで学習したことを試験する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教科書：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻（EDUWARD Press） 参考書：動物看護コアテキスト第3版 2 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） 教 材：授業毎に配布するプリント		課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
動物薬理学Ⅱ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	講義	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	15回	2単位（30時間）	必須	中川 雄太	
授 業 の 概 要					
代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられているかを理解する。					
授業終了時の到達目標					
獣医薬理学 veterinary pharmacology を総論、各論と分けて学習し、実際の現場で必要とされる薬理学の基礎の習得を目指す。 臨床薬理学 clinical pharmacology、薬力学 pharmacodynamics、薬物動態学 pharmacokinetics、毒性学 toxicology と重要項目に関して満遍なく学習し、臨床現場に限らず様々な場面での適正な薬物の使用を行えるよう目指す。					
実務経験有無		実務経験内容			
有		動物病院にて獣医師として9年間勤務			
時間外に必要な学修					
前回学んだ部分をしっかりと復習すること、授業中の内容を理解することが重要です。					
回	テ ー マ		内 容		
1～ 2	消化器に作用する薬物		制吐薬（催吐薬）、抗潰瘍薬、止瀉薬、瀉下剤		
3～ 4	オータコイド、代謝・内分泌		凝固関連、抗炎症薬、免疫抑制剤 ヒスタミン、セロトニン		
5～ 6	血液・免疫系の薬理		貧血・血液凝固・消炎剤・免疫抑制剤		
7～ 8	薬量計算②		投与量計算 ここまでの復習		
9～ 10	各論：化学療法剤（復習）		抗菌剤、抗真菌薬、駆虫薬、抗腫瘍薬、消毒薬		
11～ 12	総論：薬物の取り扱い、有害作用 各論：臨床での腫瘍学、感染症学		麻薬、毒薬、劇薬の取り扱い 毒性学を含めた有害事象に関して総論 抗腫瘍薬、抗菌薬を例とした有害事象や取り扱い、耐性化など		
13～ 14	薬量計算③ 臨床薬理学		粉剤を含めた薬量計算、処方 現場での臨床経験に準じた薬物のコンプライアンスなど		
15	期末試験		後期末試験		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
1) 動物看護コアテキスト第3巻 動物の疾病と予防および回復 第2版 2) よくわかる犬の病気 3) よくわかる猫の病気 4) 新獣医薬理学 第四版（一部は第三版を使用）			期末試験	100.0%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床看護学総論		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	本山 みれな

授業の概要

動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する

授業終了時の到達目標

動物看護過程の展開

- ・動物看護過程の目的や意義、方法について理解する
- ・動物看護過程の各ステップについて理解する
- ・アセスメントについて理解する
- ・事例ごとの個別性、情報の整理と解釈について理解する
- ・問題の明確化と動物看護計画の立案について理解する
- ・動物看護過程の実施と評価について理解する

診療記録

- ・診療録（カルテ）の作成方法について理解する
- ・動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について理解する

動物看護業務

- ・チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割について理解する
- ・ケアの標準化（クリティカルパス）について理解する
- ・事故管理、防止システムについて理解する
- ・若齢動物看護の特徴について理解する
- ・老齢動物看護の特徴や褥瘡について理解する
- ・家庭での継続動物看護を視野に入れた退院計画・指導について理解する

ターミナルケアに関わる技術

- ・ターミナルケアの目的と意義について理解する
- ・QOLやホスピス、緩和ケアについて理解する
- ・グリーフケアについて理解する
- ・死亡した動物への対応とエンゼルケアについて理解する

実務経験有無	実務経験内容
有	佐賀県内の動物病院にて動物看護師として2年間勤務

時間外に必要な学修

回	テーマ	内 容
1	動物臨床看護学を学ぶうえで必要な基礎知識①	チーム獣医療における動物看護師の役割 ケアの標準化（クリティカルパス）
2	動物臨床看護学を学ぶうえで必要な基礎知識②	臨床における動物のQOL維持の重要性 動物看護管理
3	動物看護過程①	動物看護過程とは
4	動物看護過程②	アセスメント～情報収集・解釈・判断～ 動物看護診断～動物看護上の問題点を抽出～

回	テ　　マ	内　　　　　　容		
5	動物看護過程③	動物看護計画～目標と具体策の立案～ 動物看護実践 動物看護評価		
6	診療記録	診療記録（カルテ）の記入・保存・管理・運用 動物看護記録の目的や書式、作成方法		
7	動物看護業務①	健康期（若齢・老齢）の動物看護		
8	動物看護業務②	急性期の動物看護		
9	動物看護業務③	回復期の動物看護 ・回復期とは ・リハビリテーション		
10	動物看護業務④	回復期の動物看護 ・前十字靱帯断裂の手術を実施した犬における術後回復期の動物看護		
11	動物看護業務⑤	慢性期の動物看護 ・慢性期とは ・家庭での継続動物看護を視野に入れた退院計画・指導		
12	動物看護業務⑥	慢性期の動物看護 ・糖尿病に罹患した犬における慢性期の動物看護		
13	動物看護業務⑦	終末期の動物看護（ターミナルケア） ・終末期（ターミナル期）とは ・ターミナルケアと看取り		
14	動物看護業務⑧	終末期の動物看護（ターミナルケア） ・動物医療グリーフケア ・死亡した動物への対応とエンゼルケア		
15	期末試験	これまで学習した内容を試験する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教科書：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻（EDUWARD Press） 参考書：動物看護コアテキスト第3版　4　臨床動物看護学Ⅰ 教　材：授業毎に配布するプリント		期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅳ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、 また、飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
毎回確認テストを行う。学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。				
回	テ ー マ		内 容	
1	整形外科疾患 1		膝蓋骨・前十字靱帯断裂	
2	整形外科疾患 2		股関節形成不全・関節炎・変形性関節症	
3	整形外科疾患 3		レッグペルテス・骨肉腫	
4	内分泌疾患 1		内分泌疾患・膵臓・糖尿病・低血糖	
5	内分泌疾患 2		内分泌疾患 甲状腺	
6	内分泌疾患 3		内分泌疾患 甲状腺・上皮小体	
7	造血器・免疫介在性疾患 1		血液の形態機能と免疫（復習） アレルギー性疾患	
8	造血器・免疫介在性疾患 2		免疫介在性貧血 FIP、FIV、FeLV	
9	眼疾患 1		眼の形態機能（復習）眼科検査	
10	眼疾患 2		結膜炎、乾性角結膜炎、チェリーアイ	
11	眼疾患 3		角膜潰瘍、角膜炎、白内障	
12	眼疾患 4		緑内障・流涙症・異所性睫毛、眼疾患確認テスト がんの 検査と治療の手順	
13	腫瘍疾患 1		がんの検査と治療 さまざまながん	
14	腫瘍疾患 2		リンパ腫・白血病・肥満細胞腫	

回	テ　　マ	内　　　容		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書 6		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
適正飼養指導論Ⅱ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	水戸 綾美
授 業 の 概 要				
愛玩動物の効用や飼養目的等を理解したうえで、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政のしくみについて理解する				
授業終了時の到達目標				
犬や猫が飼育されるうえで、人と共生していくために必要な適正飼養の知識をつけ、飼い主への指導など、愛玩動物看護師としての役割を果たせるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有	岡山県内の動物病院にて動物看護師として2年間勤務 岡山県内の夜間動物病院にて愛玩動物看護師として勤務			
時間外に必要な学修				
ペットに関わるうえで日々触れている内容の分野です。ポスター制作や実戦形式の授業を予定しているので、普段からアンテナを立てて情報収集をしてください。				
回	テ ー マ		内 容	
1	適正飼養指導論Ⅰ振り返り		適正飼養指導論Ⅰで学習した内容を振り返る	
2	災害危機管理と支援①		災害時におけるペットの救護対策ガイドライン～災害対応における基本的な視点	
3	ワーク①		災害対策について考える	
4	災害危機管理と支援②		平常時および災害時の飼い主の備え	
5	災害危機管理と支援③		動物看護師の平常時における役割 動物看護師の災害時における役割	
6	災害危機管理と支援④		人とペットの災害対策ガイドラインを読み込む	
7	災害危機管理と支援⑤		人とペットの災害対策ガイドラインを読み込む	
8	ワーク②		災害対策パンフレットの制作	
9	ワーク③		災害対策パンフレットの制作	
10	動物愛護管理行政①		動物愛護管理行政とは	
11	動物愛護管理行政②		適正飼養の普及啓発 犬と猫の引き取りと負傷動物の収容①	
12	動物愛護管理行政③		犬と猫の引き取りと負傷動物の収容② 動物取扱業者の規制	
13	ワーク④		動物愛護週間ポスターの作成	
14	ワーク⑤		動物愛護週間ポスターの作成	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	適正飼養指導論Ⅱで学んだ内容について		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻 ・授業毎の配布プリント		期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物内科看護学実習Ⅳ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
内科に関する技術の実践と応用				
授業終了時の到達目標				
内科に関わる全ての業務ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
繰返しの手技の練習				
回	テ ー マ		内 容	
1	動物内科看護学実習Ⅳについて		科目の目的と到達目標	
2	採血実習		フィラリア予防の採血	
3	採血実習		フィラリア予防の採血	
4	採血実習		フィラリア予防の採血	
5	採血実習		フィラリア予防の採血	
6	採血実習		フィラリア予防の採血	
7	採血実習		フィラリア予防の採血	
8	採血実習		フィラリア予防の採血	
9～12	保定練習		どんな状況でも保定ができるようになる	
13～16	尿検査と便検査		自分たちで協力して検査を行う	
17～20	皮膚検査と耳検査		自分たちで協力して検査を行う	
21～24	心電図の検査		自分たちで協力して検査を行う	
25～28	画像診断		レントゲン、超音波の検査ができる	
29～30	内科実習のまとめ		内科実習のまとめレポートを書く	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容		
動物看護の教科書	内科学	課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床看護学実習		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	西村 美笛
授 業 の 概 要				
動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
授業終了時の到達目標				
動物看護過程が実践できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
様々な病気を理解する				
回	テ ー マ		内 容	
1～ 2	よくある疾患について		来院数の多い疾患 皮膚疾患についてまとめる	
3～ 4	よくある疾患について		来院数の多い疾患 耳の疾患についてまとめる	
5～ 6	よくある疾患について		来院数の多い疾患 嘔吐下痢についてまとめる	
7～ 10	循環器系疾患		循環器系疾患についてまとめる	
11～ 14	呼吸器系疾患		呼吸器系疾患についてまとめる	
15～ 18	泌尿器系疾患について		泌尿器系疾患についてまとめる	
19～ 22	生殖器系疾患について		生殖器系疾患についてまとめる	
23～ 26	内分泌系疾患について		内分泌系疾患についてまとめる	
27～ 30	担がん動物の看護		担がん動物の看護援助	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学総論		課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物看護技術実習Ⅱ		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	田上 真紀
授 業 の 概 要				
・ 動物看護技術に関する卒業研究を通じて実践的な知識と技能を身につける。 ・ 独自の研究テーマの設定と調査を通じて、問題解決能力や論理的思考力を養う。 ・ ポスター発表を通じて、研究結果を効果的に共有し説明する能力を育成する。				
授業終了時の到達目標				
・ 研究結果を整理し、ポスターの完成度を向上。 ・ 模擬展示会でフィードバックを受けて最終版を作成。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
授業内で終わらなかったポスターの作成				
回	テ ー マ		内 容	
1	前期振り返り		前期の成果を振り返り、後期の活動計画を共有する	
2	内容の明確化		研究結果を整理し、課題や改善点を議論する	
3	ポスター構成決定		ポスターに盛り込む内容を最終決定し構成を確定する	
4	ポスターデザイン基礎1（レイアウト）		ポスターのレイアウト設計方法を学び、デザインの基本を確認する	
5	ポスターデザイン基礎2（データビジュアル化）		データを図表やグラフで視覚化し、情報の伝達力を高める方法を学ぶ	
6	仮ポスター作成とレビュー		仮ポスターを作成し、教員からレビューを受ける	
7	仮ポスター修正1（内容の改善）		仮ポスター内容を見直し、必要な修正を加える	
8	仮ポスター修正2（デザインの改善）		デザイン要素をさらに磨き上げ、ポスター全体を整える	
9	完成版ポスター作成作業1		仮ポスターを基に最終版の基礎を作成する	
10	完成版ポスター作成作業2		最終調整を行い、完全版ポスターを仕上げる	
11	模擬ポスター展示1（ペアフィードバック）		ペアでポスターを展示し、相互レビューを行う	
12	模擬ポスター展示2（全体フィードバック）		クラス全体でポスターを展示し、集団レビューを受ける	
13	ポスターの最終修正		全てのフィードバックを反映し、ポスターを仕上げる	
14	発表準備		展示の練習を行い、設営を確認する	

回	テ　　マ	内　　　　容		
15	ポスター発表展示会・評価	ポスター展示会を実施し、教員による評価を受ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学テキスト　動物看護実習テキスト		実習・実技評価	100.0%	評価基準： 研究テーマの独自性、研究内容の深さ、ポスターの完成度、内容の明確さ、進捗管理を5段階評価。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
愛玩動物看護学		動物看護総合学科動物医療 教育専攻／3年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	10回	1単位（20時間）	必須	西村 美笛
授 業 の 概 要				
愛玩動物看護師の国家試験合格を目指した勉強を行う				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物看護師の国家試験合格を目指す				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
復習と問題をたくさん解く				
回	テ ー マ		内 容	
1	愛玩動物看護師の申込		愛玩動物看護師の申込を行う	
2～ 10	愛玩動物看護師問題		各自問題を解く	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師問題集		課題・レポート	100.0%	